

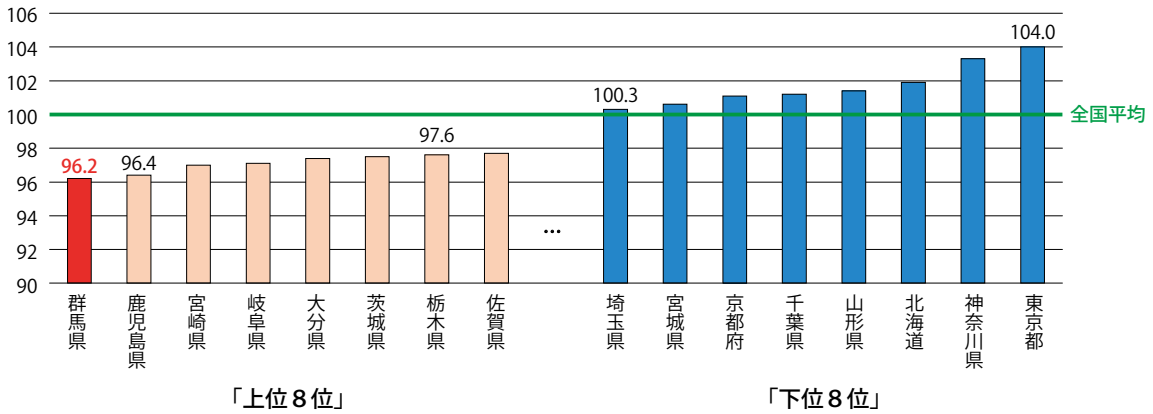
群馬県の物価の安さは全国1位！

～「教育」「住居」「食料」等が物価水準の低さに寄与～

- 総務省「小売物価統計調査」から、都道府県における「消費者物価地域差指数^(注)(総合)」を比較すると、群馬は96.2と、全国で最も物価水準が低かった(図表1)。
- 内訳では、本県は低い順で2位の「食料」、教育、3位の「家具・家事用品」、6位の「被服及び履物」、「保健医療」をはじめ、多くの費目で物価水準が低い(図表2)。
- 物価水準が最も高い東京都と比較すると、「光熱・水道」以外の費目で群馬の方が低く、特に「教育」「住居」で顕著である。一方、東京都は「住居」の物価水準の高さが突出している(図表3)。本県は、東京から100km圏内にありながら、近隣の都道府県に比べて物価水準が低く、お財布にやさしい環境にあると考えられる。

(注)消費者物価地域差指数：各地域の物価水準について「全国平均を100とした指数値」で示したもの。数値が100より小さいほど、物価水準が全国平均に比べて低いことを意味する。

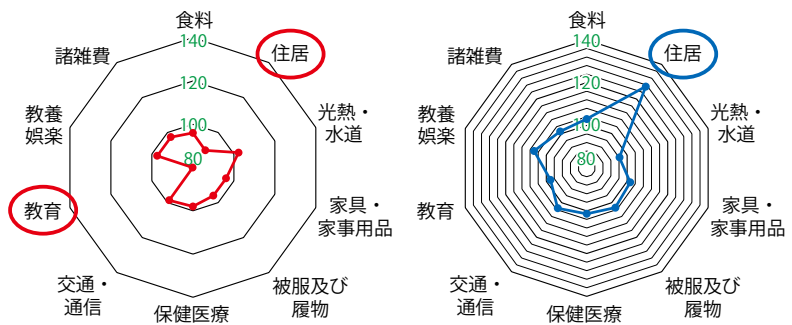
図表1 消費者物価地域差指数(総合・2024年、低い順)



図表2 10大費目別にみる全国順位

費目	群馬県	順位
食料	96.0	2
住居	89.8	18
光熱・水道	102.3	24
家具・家事用品	96.2	3
被服及び履物	96.1	6
保健医療	98.0	6
交通・通信	98.7	11
教育	80.1	2
教養娯楽	97.4	28
諸雑費	97.4	13

図表3 群馬県と東京都の比較



資料出所：総務省「小売物価統計調査」

本調査は、消費者物価指数やその他物価に関する基礎資料を得ることを目的とし、全国的規模で国民の消費生活上重要な財の小売価格やサービスの料金及び家賃を、店舗及び事業所を対象として調査している。

(担当：丸岡美智世)